

南郷里小学校からの報告

活動団体名： 南郷里小学校 理科クラブ

活動人数： 24人（教員2名）

取組時間： クラブ活動

調査内容 1回目：6月19日（月）南田附東  2回目：7月10日（月）南田附東（郵便局付近） 

水生生物調査隊は、理科や自然への興味・関心のある4年生以上の児童24名が、理科クラブに所属し、1、2学期の9回のクラブ活動の取組の中で、6月と7月に2回調査を行いました。（今年度は天候が悪く5月の調査ができませんでした。）調査場所は、学校の校地・運動場の北側にある十一川の支流、東側の支流及び本流の2か所で行いました。

南郷里小学区の地域を流れる十一川の支流は、比較的浅く流れも緩い川なので、サンダル等で川に入り、タモやざる、バット等を使って、砂利や石、藻などに隠れている小さな水生生物を見つけ、ピンセットで種類ごとに分類しながら調査をしました。指標生物の他にも、ドンコやザリガニ、サワガニやエビなどもたくさん生息していて、豊かな自然が残っていると感じました。子どもたちは、「先生！サワガニがめっちゃいる！」と喜んでいたり、「タイコウチがいる！」と珍しい生き物を見つけ興味深く話したりしていました。



また、11月20日のかがやき集会では、全校児童へ水生生物調査の報告をタブレットで発表しました。

調査員の感想

- 私たちの身近な川を調査できてよかったです。かがやき集会で理科クラブの発表をタブレットを使ってできました。
- 水生生物調査で川に行き行って生き物をいっぱい見つけることができました。
- 水生生物を捕まえて、生き物の名前を調べて何の幼虫かが分かったし、調査結果を全校で発表できとても楽しかったです。
- みんなと協力し、初めて見るいろいろな生き物を調べることができました。

捕まえた生き物たち

- ヒラタカゲロウ ・フタスジモンカゲロウ
- サホコカゲロウ ・ガガンボ ・サワガニ
- シジミ ・カワニナ ・ヒル ・ミズムシ
- アメリカザリガニ ・ヨコエビ ・スジエビ
- ドンコ ・ハグロトンボ（ヤゴ）
- シオカラトンボ（ヤゴ） ・コオイムシ
- タイコウチ ・カワムツ（稚魚）

調査のまとめ

5月から7月にかけて2、3回の調査ではありますが、毎年水生生物調査を同じ川で続けています。子どもたちにとって、素足で川の中に入り、川底をのぞき、初めて見る小さな生き物と出会う機会は、大変貴重な経験になっています。川の中の生き物の存在を知ること、決して人間だけが地球に生きているのではないということが実感できると思います。小さな生き物ほど自然環境の変化に敏感なことは、こうした身近な川を調べることで分かります。上記に挙げた採取できた生き物の種類からも分かるように、大変多くの種類の生き物たちが身近にたくさん棲んでいることを知り、自然環境の変化に関心を持ち、SDGsの観点からも将来のために自分たちに何ができるかを考え始める子どもたちが増えてほしいと願っています。



活動の様子

【南田附町での調査1】



【南田附町での調査2】



【南田附町での調査3】



【郵便局付近での調査1】



【郵便局付近での調査2】



【モンカゲロウ】



【アキアカネのヤゴ】



【サワガニ (卵付き)】



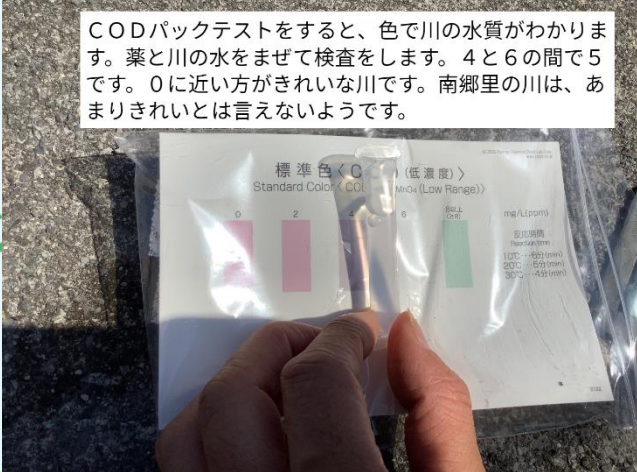
【タイコウチ】



【ガガンボ】



【パケットテスト (南田附町)】



【パケットテスト (郵便局付近)】

